

令和2年度熊本県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会「第3回常任委員会」
総合型クラブ啓発PRプロジェクト「第3回スタッフミーティング」合同会議事要旨

日時	令和2年10月26日（月）午前10時30分から正午
場所	県民総合運動公園陸上競技場内1階会議室114
出席者	齋藤・桐原・甲斐・林田（理事4名）永田・太田黒（事務局2名）
会 議 内 容	
1 開会	
2 あいさつ	石原副会長が当日欠席のため、挨拶なし
3 議長選出	齋藤理事長
4 報告	
(1) オンラインセミナーの開催について	
	・事務局から、10月14日に開催したオンラインセミナーに係る報告。 ・齋藤理事長から、会議や研修会等のシーンにおいて、どのオンラインツールが良いのかは検討しながら実施する必要があると述べられた。
5 議事	
(1) 県内クラブ交流事業及び被災地支援について	
	・事務局から、県内クラブ交流大会の実施方法に係る提案及び被災地の現状について説明。 ・支援金については、徳島県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会からの支援金に本協議会予算を追加し、支援金として送金する旨提案。（本協議会加入クラブは8万円、その他は2万円） ・北ブロックからの発案により、7月豪雨災害の被災地支援活動をしてはどうか提案。 ・北ブロック桐原理事から北ブロック連絡調整会議にて、12月6日（日）に実施したい旨提案があり、さらに、県内クラブ交流事業としての実施とし、中央・南ブロックでも呼びかけてはどうかとの提案があった。さらに、復旧作業等を行う際、総合型地域スポーツクラブの普及啓発のため、スタッフ用のビブスを購入してはどうかとの提案あり。また、事前に人数把握ができれば、昼食のお弁当を被災地の業者を活用する等、被災地にお金を落とす形が良いのではないかと提案も併せていただいた。 ・齋藤理事長から、被災地の現状について情報提供し、復旧作業だけでなく、スポーツをする機会を作り、総合型クラブのPRにもつなげたらよいのではないかと提案いただいた。
—協議の結果—	
	・支援金については、上記提案内容を理事会へ提案する旨決定。 ・県内クラブ交流大会は、被災地支援という形で行う旨理事会・実行委員会に提案する旨決定。 ・北・中央・南ブロックそれぞれで申込受付担当者を決め、参加者の取りまとめを行っていただく旨情報共有。11月6日の第5回理事会及び県内クラブ交流大会「第3回実行委員会」までにブロック内で情報共有いただくことを確認。
(2) 研修会の開催について	
	・事務局から、10月14日に開催したオンラインセミナーの講師である小出氏に謝金を支払ってよろしいか提案。（1. 5時間対応のため謝金基準表に従って、15,000円の支払い） ・今年度の研修会は全てオンラインセミナーとして実施してはどうか提案。 ・実施方法として、11月以降定期的にセミナーを開催し、特にアンケートでクラブの課題とし

て挙げられている「人材確保」「財源確保」「広報」についてを挙げ、実施してはどうか提案。
—協議の結果—

- ・小出氏には、講師謝金として15,000円支払う旨理事会へ提案することに決定した。
- ・11月からオンラインセミナーを実施していくことを理事会へ提案する旨決定。
- ・講師は県内クラブの方をお願いするなどして、謝金等支払えるとよいとの意見がでたため、次回の理事会までにセミナーの予定案を事務局で作成することとなった。常任委員は、10月31日（土）までにLINEでセミナーのテーマや講師として推挙したい方がいたら連絡すること。

6 その他

- ・特になし。

7 閉会

